

山岳遭難発生状況

(令和7年1月1日～令和7年4月6日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和6年数値は1月1日からの同期間数値）

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令和7年	47	11	2	17	28	58
令和6年	52	11	0	14	35	60
前年同期比	-5	0	2	3	-7	-2

2 山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北ア	槍穂高	2	4.3%	2	0	0	2
	後立山	14	29.8%	2	0	7	21
	その他	0	0.0%	0	0	0	0
計	16	34.0%	4	0	7	12	23
中央アルプス	6	12.8%	2	1	2	2	7
南アルプス	1	2.1%	0	0	1	0	1
八ヶ岳連峰	7	14.9%	2	0	3	3	8
その他の山岳	17	36.2%	3	1	4	11	19
計	47		11	2	17	28	58

3 態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	12	25.5%	7	0	6	0	13
転倒	11	23.4%	1	0	10	0	11
病気	2	4.3%	0	0	0	2	2
道迷い	11	23.4%	0	0	0	18	18
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	1	2.1%	0	0	0	1	1
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	0	0.0%	0	0	0	0	0
不明・他	10	21.3%	3	2	1	7	13
計	47		11	2	17	28	58

4 男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)比率	女性					(人)比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	3	3		0	0	0	0	0	3		
20代	0	0	0	5	5	18	0	0	0	1	1	6	22	
30代	2	2	3	3	10	35.3%	0	0	1	2	3	13	37.9%	
40代	2	0	4	2	8	20	0	0	0	0	0	8	23	
50代	3	0	1	8	12	39.2%	0	0	3	0	3	15	39.7%	
60代	2	0	5	3	10	13	0	0	0	0	0	10	13	
70以上	2	0	0	1	3	25.5%	0	0	0	0	0	3	22.4%	
計	11	2	13	25	51		0	0	4	3	7	58		
比率	87.9%						12.1%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（3/31～4/6）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
行方不明者の発見	中央アルプス 空木岳	男	38	死亡	滑落	3/29から単独で空木岳に入山したまま、行方不明となっていたもの。何らかの原因で、滑落（4/4遺体で発見）
	北アルプス 南岳	男	51	死亡	滑落	3/30に2人パーティで南岳に向けて登山中、雪庇を踏み抜いて滑落し、行方不明となっていたもの（4/5遺体で発見）
4月5日	北アルプス 白馬乗鞍岳	男	50	無事救出	道迷い	2人パーティで天狗原からバックカントリーを滑走中、道に迷い、行動不能
		男	15	無事救出	道迷い	

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、1件の山岳遭難が発生しました。

4月に入り、本格的な春山シーズンが訪れました。しかし、麓では春の陽気でも、県内の山々はまだまだ雪に覆われ、標高の高い山域では、天気が急変すれば真冬に逆戻りすることがあります。

春山では、標高の高い山域は日中の寒暖差が大きくなるにつれ、雪融けが進み、雪質が大変不安定な状態となり、

雪崩や雪庇崩壊

のリスクが高まります。

入山する際は、**ビーコン**や**スコップ**等の**雪崩対策装備**の携行はもちろんのこと、事前の天候、積雪状況の確認を行い、無理のない安全な登山を心掛けてください。